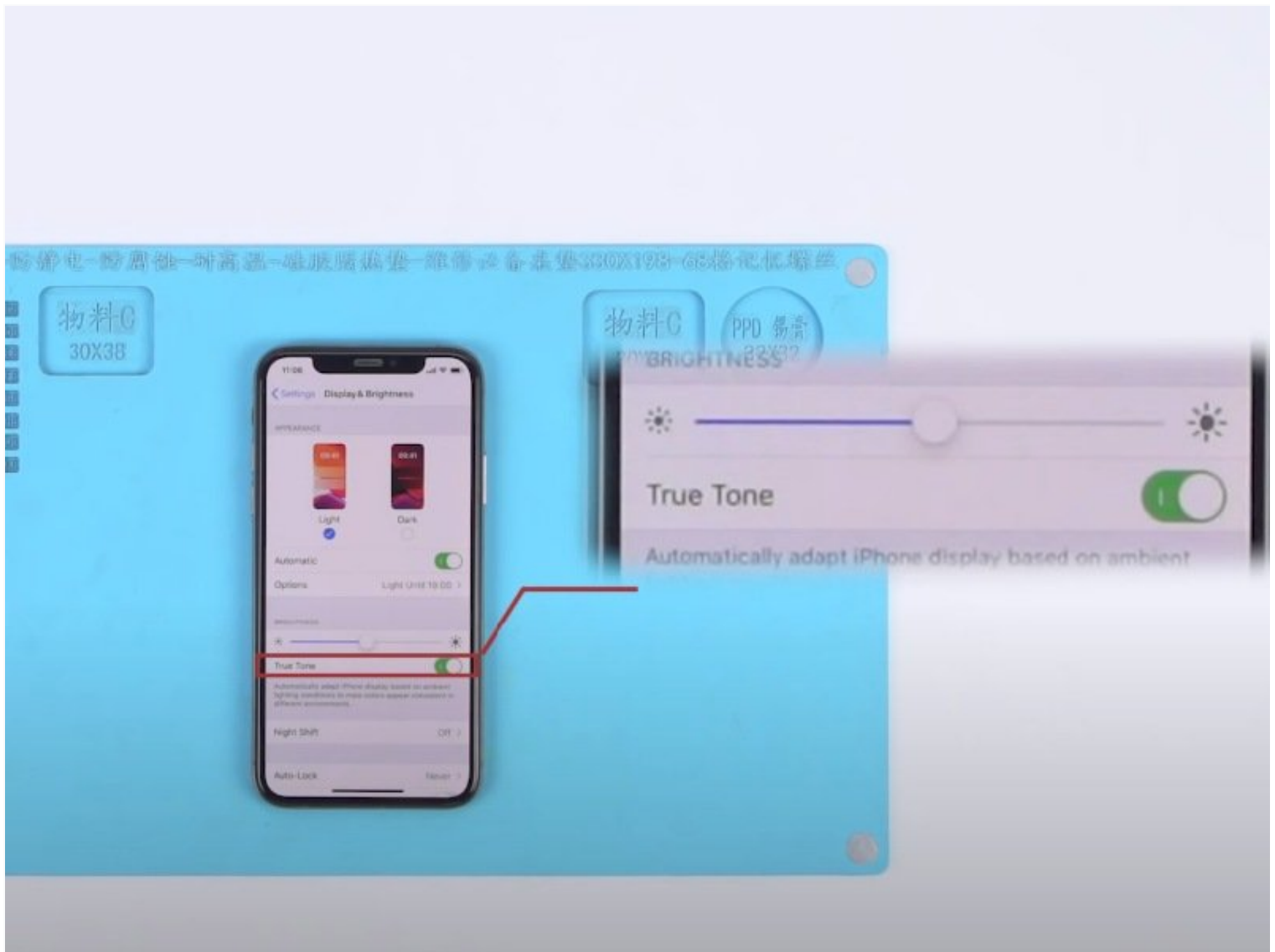




iPhone XS アフターマーケットスクリーン交換後のTrue Tone機能を回復する方法

iOS13のリリース後、アフターマーケット(社外品)のディスプレイを搭載すると、True...

作成者: Phryne



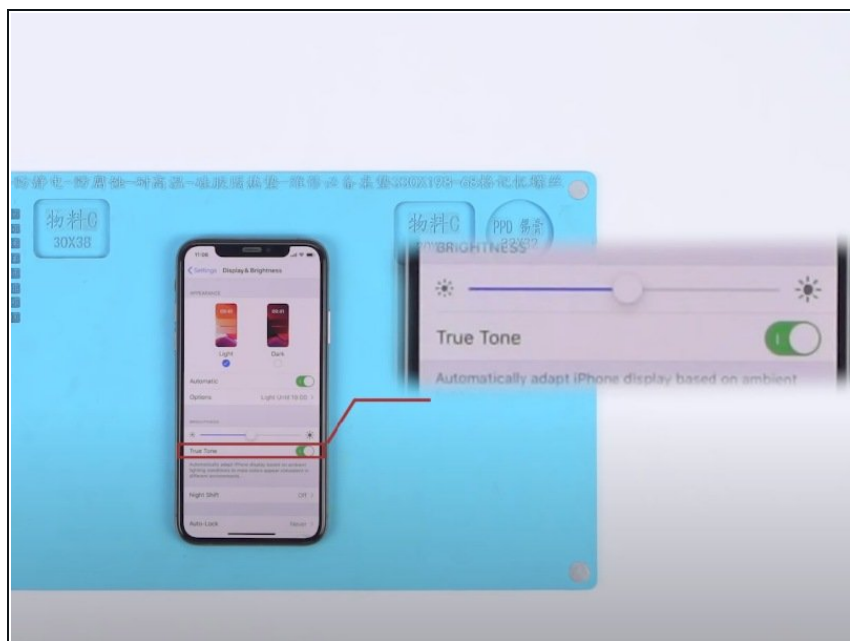
はじめに

iOS13のリリース後、アフターマーケット(社外品)のディスプレイを搭載すると、True Toneが無効になる場合があります。有効にするための手順をiPhone XSを例にして説明します。

ツール:

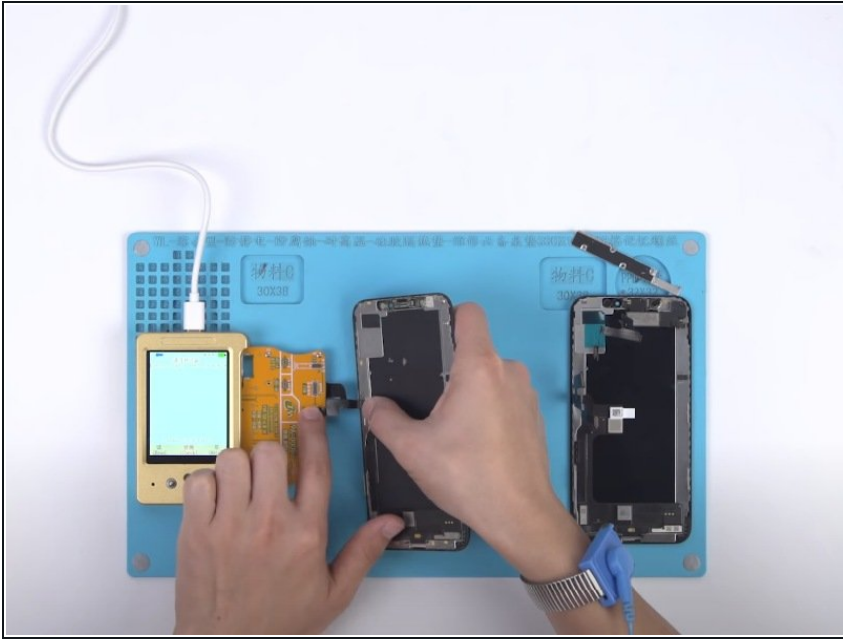
Multi-function Programmer for iPhone 7-11 Pro
Max (1)

手順 1 — iPhone XS アフターマーケットスクリーンのTrue Tone機能の有効化



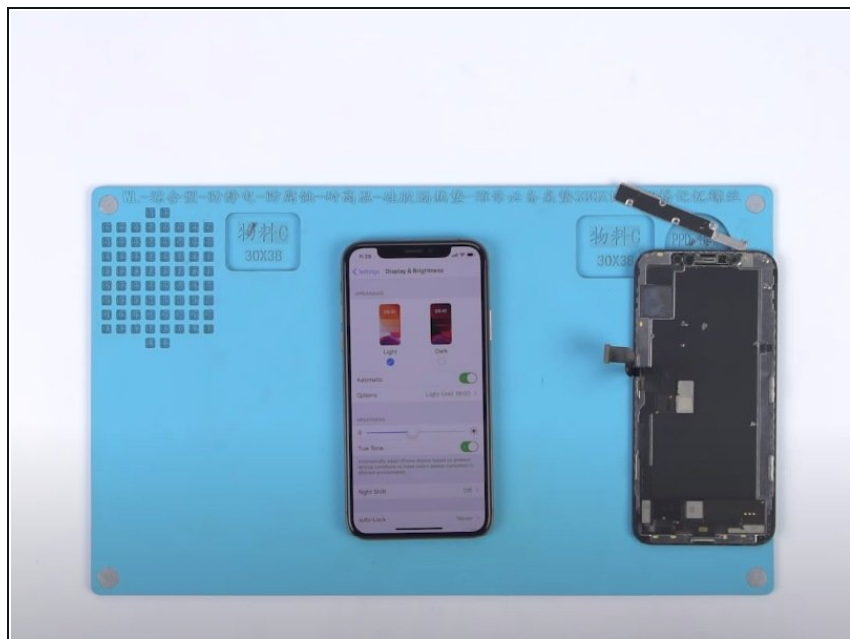
- 設定 > 一般 > ソフトウェアのバージョン—iOS13.2を確認します。それから設定>画面表示と明るさを選択します。True Toneがスライダーで緑色になっていることを確認してください。
- アフターマーケット(社外品)のスクリーンと交換してください。
- ”設定” > ”画面表示と明るさ”の設定から、True Toneが無効になっていることを確認してください。

手順 2



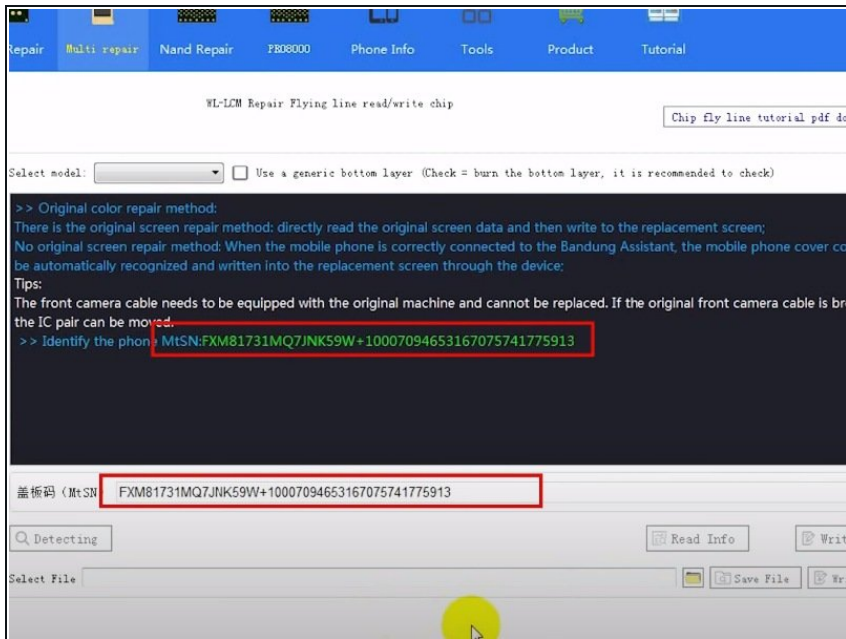
- マルチファンクションプログラマーでTrue Tone機能を有効化します。
- まずディスプレイ拡張モジュールをプログラマーに接続します。次に、オリジナルのスクリーンをディスプレイ拡張モジュールに接続します。
- プログラマーを使用して、オリジナルスクリーンのデータを読み取りします。
- 完了したら、オリジナルのスクリーンの接続を外し、アフターマーケット(社外品)のスクリーンをディスプレイ拡張モジュールに接続します。
- ここではプログラマーをつかって、アフターマーケットのスクリーンにデータを書き込みます。完了するとアフターマーケットのスクリーンのを外します。

手順 3



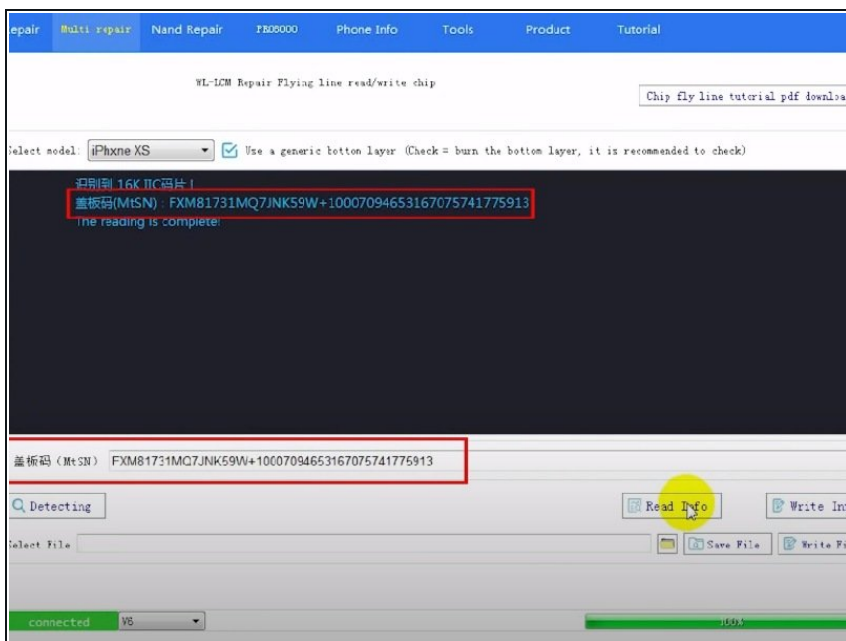
- ここでまで作業が終わると、デバイスを組み立てて、動作確認します。
- "設定" > "画面表示と明るさ"を開きます。True Toneのスライダーが緑色で、機能が有効化されていることを確認してください。

手順 4 — オリジナルスクリーンなしでiPhone XSのアフターマーケットスクリーンのTrue Tone機能を有効化する方法



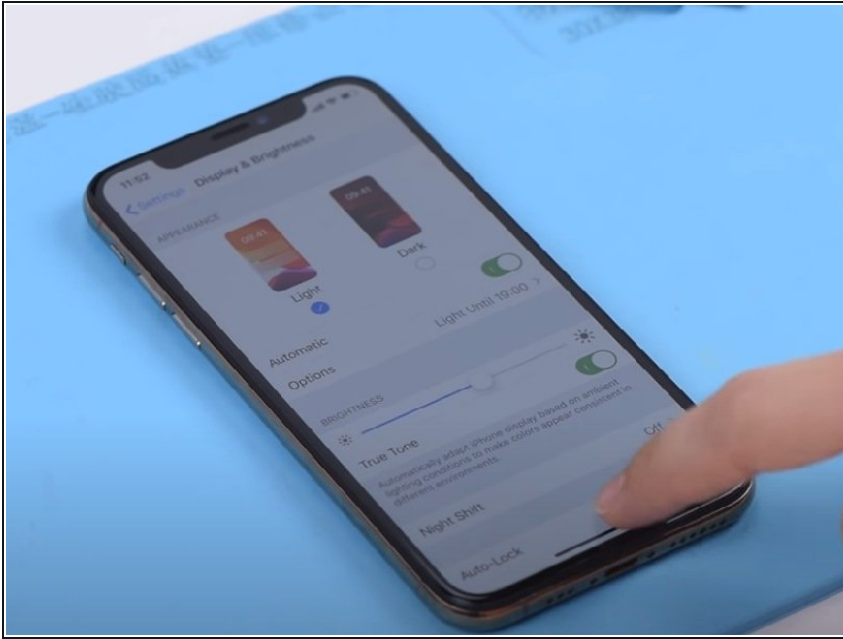
- バージョン確認をしてください。
例：iOS13.2。"設定">"一般">"情報"。True Toneがスライダーで緑色になっていることを確認してください。"設定">"画面表示と明るさ"
- パソコンにiPhoneとを接続して[WL assistance](#)を開きます。カバー基板のシリアルナンバーが自動で読み込まれます。
- 電源をOFFしたあとパソコンから取り外してください。その後、アフターマーケットのスクリーンも取り外します。

手順 5



- オリジナルのスクリーンなしで、true tone機能を有効にしていきます。
- アフターマーケットスクリーンをディスプレイ拡張モジュールに接続して、マルチ機能true toneプログラマーをパソコンに接続します。
- オリジナルスクリーンなしでtrue toneを有効化するには、手順 4 で読み取ったカバー基板のシリアル番号をアフターマーケットスクリーンに書き込まなければなりません。

手順 6



- これでデバイスを組み立てて、結果を確認してください。アフタースクリーンを取り付けて、バッテリーの接続を入れます。デバイスの電源を入れてください。
- "設定" > 画面表示と明るさを開きます。True Toneのスライダーが緑色になっており機能が有効化されていることを確認してください。これでTrue Tone機能は回復しています。

- ["iPhone 11 Pro バックガラスの交換"](#)
- ["iPhone 11 Pro の分解"](#)
- ["Face ID 分解 - 修理後、Face IDが機能しない理由"](#)
- ["5つの手順で、iPhone X 64GBストレージを256GBにアップグレードする方法"](#)
- ["酷く破損したiPhone Xを回復する方法"](#)
- ["How to Fix iPhone X Face ID Not Working 'Move iPhone a Little Lower/Higher'"](#)